（様式第４号）

川西地域協議会　会議概要

1　審議会名　　第９回　川西地域協議会
2　日　　時　　平成２４年１２月１１日　午後１時 30 分から午後４時 00 分まで
3　会　　場　　川西地域自治センター　まちづくり活動拠点会議室
4　出 席 者　　大井会長、泉副会長、市川委員、上村委員、黒岩委員、小泉委員、甲田委員、
　　齋藤委員、酒井委員、清水委員、春原委員、滝澤委員、多田委員、
　　田中（朝）委員、田中（憲）委員、南波委員、西澤委員、増田委員
　　出席者 18 人、欠席者２人
5　市側出席者　手塚センター長、綿内地域振興政策幹
6　公開・非公開等の別　　公開　・　一部公開　・　非公開
7　傍聴者　　０人　　記者　０人
8　会議概要作成年月日平成２４年１２月１２日　川西地域自治センター

協　議　事　項　等

1　開　　会（手塚センター長）

2　あいさつ（大井会長）

3　会議事項

（１）後継者・担い手、遊休荒廃地対策、有害鳥獣対策について

担当課である、農政課、農業委員会、森林整備課から資料に基づき説明

＜質疑応答＞

（委　員）柵をすればいいという対策が主である。対策が違うのではないか。
再生可能な農地とは、どういう農地か。
担当課　柵の設置だけでなく、わなも設置して頭数の調整もしている。集落ごとの捕獲も実施している。
再生可能農地とは、８年位放棄された農地で、農道等があるかないかは問わない。

（委　員）有害鳥獣対策は、お金を出すだけでなく重点的にやってもらわないと効果が薄い。政策的にやってもらいたい。
担当課　手を上げた順番で話し合いをしてやっている。農業組合法人も手を上げている。
（委　員）捕獲した鳥獣の値段はいくらか。処分に手間と時間がかかる。
担当課　シカ、いのししは、一頭　10,000 円
（委　員）耕作放棄地の対策を発送転換して、ソーラー発電のために転用できないか。
担当課　青地の１種農地については、農地を守るためできない。
（委　員）防護柵の資材を１ｋｍ分いただいたが、だれがやるのか。他地区の状況、補助はあるか。
担当課　原材料支給が、精一杯。他地区では、奈良尾、などの東塩田から西塩田で実施している。
（委　員）柵を設置したところの手入れはどうするか。
担当課　草刈りなどの手入れをしないとダメ。

（２）地域内分権に向けての第４ステージへの展開について

（事務局）別紙、次第に沿って、説明
地域経営会議については、現在の地域協議会のメンバーに福祉関係の川西地域社会福祉協議会とまちづくり団体から数人プラスしたらどうかと提案

（委　員）福祉関係とは、具体的にどこか。また、まちづくり団体とは、どこか。

（事務局）福祉関係団体とは、具体的には川西地区社会福祉協議会で、そこから２名、まちづくり団体とは、川西里山・水辺をつなぐ会でそこから１人、推薦していただき構成したらどうか。
（委　員）了解
（事務局）　それでは、次回の１月２３日（水）開催の地域協議会及び引続き開催する３者懇談会で協議して決定していきたい。

（３）専門部会の取り組みについて

（事務局）今までの下記の４部会の取り組み状況について、１月１５日までに、まとめていただき事務局に提出していただき、その内容を次回の地域協議会及び３者懇談会で発表してもらいたい。

③住む人にやさしく快適な環境づくり
④農業を主体とした産業の育成
⑤地域ぐるみでの子育て支援の推進
⑥交流・体験を中心に据えた地域興しの展開

（４）その他

・エコ平板の説明版の設置

（事務局）　地元の発案で設置された経緯から、説明板の設置についても地域協議会の判断で設置するかどうか決めてほしい。
（委　員）設置することで決定

・平成２４年度「地域協議会だより」の内容について

（事務局）平成２４年度「地域協議会だより」の内容について、意見があれば提案してください。
（委　員）　今までの活動などを中心に載せてほしい。
（事務局）　今年度の主な活動を中心に年度末までに発行します。

４　その他

・　次回の日程
・

日　時　１月２３日（火）午後１時３０分から
場　所　川西地域自治センター　まちづくり活動拠点会議室

引続き、午後３時３０分から３者（地域協議会、自治連、地元議員）との懇談会を開催

５　閉　　会　（大井会長）

閉会後、検討各専門部会で個別の協議

＊　会議概要は原則として公開します。会議終了後、　１週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
＊　非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。